

手をつなぐ親子



令和3年9月 発行:登別市教育委員会・学校教育グループ「子育てコラム」No.1

暴力・セクシャル・犯罪・・・

子どもに適したゲームの選択を

近年、日本でゲーム（家庭用ゲーム、パソコン用ゲーム、スマートフォン／タブレット用ゲーム、携帯電話用ゲーム、アーケードゲーム）のユーザーは4500万人を超え、そのうちタブレット・スマホでのゲーム利用者は最多で3300万人程度のユーザーが存在します。

（『2020CESA一般生活者調査報告書』）

そのゲームの内容は様々で、表現もより多彩になっています。



中にはよりリアルな描写をするゲームもあり、暴力的な表現や犯罪的な表現をするゲームもあります。これらの表現は小中学生にとってふさわしくない場合があります。

家庭用ゲームソフトには、「このゲームがどの年齢の子どもに適しているか、適していないか」がパッケージに表示されています。

これは「レーティングマーク」と呼ばれるもので、コンピューター・エンターテインメント・レーティング機構（略称 CERO）が定める対象年齢などを表示するものです。



背面部

表面



対象年齢の表示は5種類

対象年齢の区分は右の5つになります。これを見ると CERO の「C」や「D」、「Z」の区分は小中学生には決して適しているとは言えないゲームソフトであることがわかります。

また、その対象年齢を決定した内容をパッケージの裏面に表記することになっています。



年齢区別対象となる表現・内容は含まれておらず、全年齢対象であることを表示しています。



12才以上を対象とする
表現内容が含まれていることを表示しています。



15才以上を対象とする
表現内容が含まれていることを表示しています。



17才以上を対象とする
表現内容が含まれていることを表示しています。



18才以上のみを対象とする
表現内容が含まれていることを表示しています。
(18才未満者に対して販売したり頒布したりしないことを前提とする区分)

CERO「Z」のソフトに対する各団体の対応

特に CERO「Z」のソフトに対しては、18歳未満に対して販売したり配布したりしないことを前提としているため、以下のような対応をしています。

CESA「家庭用ゲームソフトの年齢別レーティング制度を反映した販売店マニュアル」
「Z 指定」商品を18才未満販売禁止として取り扱う。

ソフトメーカー

「Z 指定」商品のパッケージに「18才未満へ販売しない」旨を表示する。

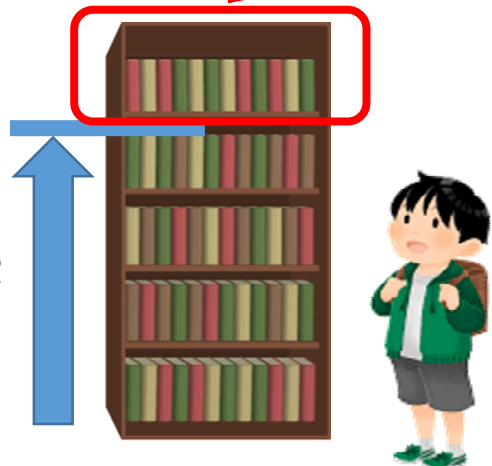
コンビニエンスストア

「Z指定」商品は取り扱わない。
「区分陳列用表示(18才未満に販売しない旨を表記)」を利用して、他の商品と区分し、子どもが手にとりにくい高さ(目安150cm以上)にまとめて陳列を行う。

販売店に対して、区分陳列方法を具体的に提示するとともに、年齢確認の確実な実施などを強く要請しています。

150cm

ここに陳列



友達関係もあるけれど…

「みんながやっているから…」と買い与えてしまいがちですが、わが子が画面を見ながら殺伐とした言葉を吐いているところは決して見ていて気持ちの良いものではありません。

子どもが健やかに育つため、子どもが選択するゲームの内容に目を向けてみませんか。